

7 詩1 詩の種類

組
番号
氏名

1 次のAとBの詩を読んで問いに答えなさい。

A 初恋 島崎藤村

① まだあげ初めし前髪の
林檎のもとに見えしとき
前にさしたる花櫛の
花ある君と思ひけり

B 道程 高村光太郎

② やさしく白き手をのべて
林檎をわれにあたへしは
薄紅の秋の実に
人こひ初めしはじめなり
(以下省略)

僕の前に道はない
僕の後ろに道は出来る
ああ、自然よ
父よ
僕を一人立ちにさせた広大な父よ
僕から目を離さないで守る事をせよ
常に父の気魄を僕に充たせよ
この遠い道程のため
この遠い道程のため

(1) A、Bの詩の種類としてを適切なものを、次のア〜エから選んで記号で答えなさい。

- ア 口語定型詩
- イ 口語自由詩
- ウ 文語定型詩
- エ 文語自由詩

A:

ウ

B:

イ

注 Aの詩は五音・七音と規則的な音数になっている。

(2) Aの詩の①、②のようなまとまりを何といいますか。

連

(3) 次の文章の□に当てはまる言葉を答えなさい。

Aの詩はどの行も七音に続いて五音のリズムになっている。このような詩を□
七五□
調の詩という。